

## 性能評価用提出図書（別添）作成要領

＜耐火構造＞  
(床用)

### ～作成にあたっての注意事項～

- 1) 本書類は、性能評価用提出図書（別添）です。  
当法人打合せ担当者との打合せの中で試験体仕様の選定を行いますが、その際の資料として、申請される材料を漏れなく記載願います。
- 2) 図書サイズは、特に指定されたもの以外はA 4判としてください。
- 3) 様式指定のあるものは、指定どおりの様式を用いてください。
- 4) 原則として文字は全てワープロ打ち（MS明朝体・サイズは10ポイント、数字、単位は半角文字）とし、図面等は鮮明なものとしてください。（ワープロソフトは原則としてMS-WORDを使用してください）

(別添)

打合せ担当者との打合せに基づいて記載入してください。  
わからない場合は一般名称でも構いませんが、  
商品名は記入しないでください。

1. 構造名

普通コンクリート・デッキプレート造床（合成スラブ・単純支持及び連続支持）

2. 寸法及び形状等

2章～3章に関しては6章と自動リンクしているため、  
編集作業は不要です。（編集不可のロックをしています。）  
4章構造説明図以降の作成をお願いいたします。

(寸法単位：mm)

項目	仕様
床厚	〇〇以上
支持間隔	〇〇以下 (積載荷重 〇〇 N/m <sup>2</sup> 以下)
支持	単純支持、連続支持

3. 材料構成

1) 主構成材料

(寸法単位：mm)

項目	仕様
1) デッキプレート	<ul style="list-style-type: none"> <li>規格 JIS G 3352 (デッキプレート)</li> <li>山高さ 〇〇<sub>±</sub>〇〇</li> <li>形状寸法 別添-〇〇参照</li> <li>厚さ 〇〇、〇〇、〇〇</li> <li>働き幅 〇〇<sub>-</sub>〇〇<sub>+</sub>〇〇</li> <li>種類 (1)～(5)のうち、いずれか一仕様とする <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) SDP1T</li> <li>(2) SDP1TG</li> <li>(3) 〇〇</li> <li>(4) 〇〇</li> <li>(5) 〇〇</li> </ul> </li> </ul>
2) コンクリート	<ul style="list-style-type: none"> <li>種類 普通コンクリート</li> <li>呼び強度 〇〇～〇〇</li> <li>厚さ デッキプレート山上 から〇〇以上</li> </ul>
3) 〇〇〇	認定仕様を記入してください
4) 〇〇〇	認定仕様を記入してください

(寸法単位：mm)

項 目	仕 様
5〇〇〇	認定仕様を記入してください
6〇〇〇	認定仕様を記入してください
7〇〇〇	認定仕様を記入してください
8〇〇〇	認定仕様を記入してください
9〇〇〇	認定仕様を記入してください
10〇〇〇	認定仕様を記入してください

## 2) 副構成材料

(寸法単位：mm)

項 目	仕様
① ひび割れ拡大防止用鉄筋	<p>(1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>(1) 溶接金網</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・規格 JIS G 3551</li> <li>・種類</li> </ul> <p>(イ)～(ニ)のうち、いずれか一仕様とする</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(イ) WFP</li> <li>(ロ) WFC</li> <li>(ハ) ○○</li> <li>(ニ) ○○</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・線径 ○○以上</li> <li>・かぶり厚さ 床上面から○○以上</li> <li>・間隔 ○○以下×○○以下</li> </ul> <p>(2) 鉄筋(異形鉄筋)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・規格 JIS G 3112 又は JIS G 3117</li> <li>・断面寸法 D○○以上</li> <li>・間隔 ○○以下×○○以下</li> <li>・かぶり厚さ 床上面から○○以上</li> </ul>
② スペース	<p>(1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>(1) 鉄線</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・線径 規定のかぶり厚さが確保でき、施工時に変形等しない線径以上</li> <li>・間隔 ○○以下</li> </ul> <p>(2) セメントブロック</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・寸法 規定のかぶり厚が確保できる断面寸法以上</li> <li>・間隔 ○○以下</li> </ul>
③ はりと床版の接合方法	<p>(1)～(3)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>(1) 頭付きスタッド</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・規格 JIS B 1198</li> <li>・寸法 <math>\phi</math>○○以上×L○○以上</li> <li>・間隔 ○○以下</li> </ul> <p>(2) タッピンネジ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・寸法 <math>\phi</math>○○以上×L○○以上</li> <li>・間隔 ○○以下</li> </ul> <p>(3) 打ち込みびょう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・寸法 <math>\phi</math>○○以上×L○○以上</li> <li>・間隔 ○○以下</li> </ul>

(寸法単位：mm)

項 目	仕 様
④はりとデッキプレート の接合方法	(1)～(3)のうち、いずれか一仕様とする (1)アークスポット溶接 (2)すみ肉溶接 (3)〇〇溶接
⑤〇〇〇	認定仕様を記入してください
⑥〇〇〇	認定仕様を記入してください
⑦〇〇〇	認定仕様を記入してください
⑧〇〇〇	認定仕様を記入してください
⑨〇〇〇	認定仕様を記入してください
⑩〇〇〇	認定仕様を記入してください

#### 4. 構造説明図

[透視図]

(寸法単位：mm)

各種図面(斜視図、断面図、断面詳細図、配筋図等)を追加してください。

- ・「2. 形状及び寸法等」で記載されている各寸法、及び「3. 材料構成」で記載されている各材料がどの部分にどのような方法で使われているか分かりやすく図示して下さい。
- ・評価を行う上で重要な部分の詳細図を記載して下さい。
- ・図面中の材料名は「3. 構成材料」中の「項目」に合わせて記載して下さい。

注) 寸法および材料構成は2および3のとおり

※：本評価内容に含まない

## 5. 施工方法等

### <施工図>

#### 4. 構造説明図と同じ

申請される構造の施工手順を記載して下さい。  
また、寸法等は極力記載しないで下さい。

### <施工手順>

#### 1) ○○の取付け

- ・取付け方法
- ・留付け材の種類や間隔
- ・施工時の注意事項

#### 2) ○○と○○の接合

- ・
- ・
- ・

#### 3) □□□の取付け

- ・
- ・
- ・

#### 4) □□□の取付け

- ・
- ・
- ・

#### 5) □□□の取付け

- ・
- ・
- ・

性能評価用提出図書（別紙）  
作成のお願い

＜耐火構造＞  
（床用）

～作成にあたっての注意事項～

- 1) 本書類は、性能評価用提出図書（別添）の試験体の選定理由部分です。  
評価作業を効率よく実施するため、性能評価用提出図書（別紙）作成をお願いしています。当法人打合せ担当者との事前打合せ内容に基づいて記入してください。
- 2) 図書サイズは、特に指定されたもの以外はA 4判としてください。
- 3) 様式指定のあるものは、指定どおりの様式を用いてください。
- 4) 原則として文字は全てワープロ打ち（MS明朝体・サイズは10.0ポイント、数字、単位は半角文字）とし、  
図面等は鮮明なものとしてください。（ワープロソフトは原則としてMS-WORDを使用してください）
- 5) 大臣認定に係る性能評価は、申請構造の仕様に対する評価であるため、「商品名」は記載しないでください。



6. 評価方法

6-1. 試験体の選定

1. 寸法及び形状等

申請される構造の仕様を仕様欄に全て記載してください。

打合せ担当者との事前打合せ内容に基づいて記入して下さい。

(寸法単位：mm)

項目	試験体の構造	仕様	試験体の選定理由
床厚	〇〇	〇〇以上	非損傷性上不利となる最小
支持間隔	〇〇 (積載荷重〇〇 N/m <sup>2</sup> )	〇〇以下 (積載荷重 〇〇 N/m <sup>2</sup> 以下)	非損傷性上不利となる最大
支持	単純支持	単純支持、連続支持	非損傷性上不利となる単純支持

試験体に選定された構造を記載してください。  
数値は全て確定値(以上、以下、±等の表記は不可)で記載して下さい。  
また、別途作成いただく製作チェックリストはこの欄をそのままコピーして作成願います。

2. 材料構成

1) 主構成材料

(寸法単位：mm)

項目	試験体の構造	仕様	試験体の選定理由
1) デッキプレート	<ul style="list-style-type: none"> <li>規格 JIS G 3352 (デッキプレート)</li> <li>山高さ 〇〇</li> <li>形状寸法 別添-〇〇参照</li> <li>厚さ 〇〇</li> <li>働き幅 〇〇</li> <li>種類 SDP1TG</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>規格 JIS G 3352 (デッキプレート)</li> <li>山高さ 〇〇<sub>±〇〇</sub></li> <li>形状寸法 別添-〇〇参照</li> <li>厚さ 〇〇、〇〇、〇〇</li> <li>働き幅 〇〇<sub>-〇〇+〇〇</sub></li> <li>種類 (1)~(5)のうち、いずれか一仕様とする (1)SDP1T (2)SDP1TG (3)〇〇 (4)〇〇 (5)〇〇</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>規格、山高さ、形状寸法仕様と同じ</li> <li>非損傷性上不利となる最小</li> <li>非損傷性上同等の性能を有するため、一般的な 600</li> <li>非損傷性上不利となる(1)、(2)のうち、同等性能を有するため一般的な(2)</li> </ul>
2) コンクリート	<ul style="list-style-type: none"> <li>種類 普通コンクリート</li> <li>呼び強度 〇〇</li> <li>厚さ デッキプレート山上から〇〇</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>種類 普通コンクリート</li> <li>呼び強度 〇〇~〇〇</li> <li>厚さ デッキプレート山上から〇〇以上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>仕様と同じ</li> <li>呼び強度、厚さ非損傷性上不利となる最小</li> </ul>
3) 〇〇〇	試験体の構造を記入してください。	認定仕様を記入してください。	仕様が複数存在する場合、「(*)~(*)のうち、いずれか一仕様とする」と記載して下さい。
4) 〇〇〇	試験体の構造を記入してください。	認定仕様を記入してください。	試験体選定理由を記入してください。

主構成材料の部材名の頭文字は□と項目順番号を記入してください。

(寸法単位：mm)

項目	試験体の構造	仕様	試験体の選定理由
5〇〇〇	試験体の構造を記入してください。	認定仕様を記入してください	試験体選定理由を記入してください
6〇〇〇	試験体の構造を記入してください。	認定仕様を記入してください	試験体選定理由を記入してください
7〇〇〇	試験体の構造を記入してください。	認定仕様を記入してください	試験体選定理由を記入してください
8〇〇〇	試験体の構造を記入してください。	認定仕様を記入してください	試験体選定理由を記入してください
9〇〇〇	試験体の構造を記入してください。	認定仕様を記入してください	試験体選定理由を記入してください
10〇〇〇	試験体の構造を記入してください。	認定仕様を記入してください	試験体選定理由を記入してください

2) 副構成材料

(寸法単位：mm)

項目	試験体の構造	仕様	試験体の選定理由
<p>①ひび割れ拡大防止用鉄筋</p>	<p>溶接金網                      ・規格 JIS G 3551                      ・種類 WFP</p> <p>・線径 ○○                      ・かぶり厚さ 床上面から○○                      ・間隔 ○○×○○</p>	<p>(1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>(1)溶接金網                      ・規格 JIS G 3551                      ・種類 (イ)～(ニ)のうち、いずれか一仕様とする                      (イ)WFP                      (ロ)WFC                      (ハ)○○                      (ニ)○○                      ・線径 ○○以上                      ・かぶり厚さ 床上面から○○以上                      ・間隔 ○○以下×○○以下</p> <p>(2)鉄筋(異形鉄筋)                      ・規格 JIS G 3112 又は JIS G 3117                      ・断面寸法 D○○以上                      ・間隔 ○○以下×○○以下                      ・かぶり厚さ 床上面から○○以上</p>	<p>コンクリートに対する断面積が小さく非損傷性上不利となる(1)</p> <p>・仕様と同じ                      ・コンクリートとの付着が小さく非損傷性上不利となる(イ)、(ロ)のうち、同等の性能を有するため一般的な(イ)</p> <p>・線径、かぶり厚さ 非損傷性上不利となる最小</p> <p>・間隔 非損傷性上不利となる最大</p>
<p>②スペーサー</p>	<p>鉄線                      ・線径 ○○</p> <p>・間隔 ○○</p>	<p>(1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>(1)鉄線                      ・線径 規定のかぶり厚さが確保でき、施工時に変形等しない線径以上                      ・間隔 ○○以下</p> <p>(2)セメントブロック                      ・寸法 規定のかぶり厚が確保できる断面寸法以上                      ・間隔 ○○以下</p>	<p>非損傷性上同等の性能を有するため一般的な(1)</p> <p>・線径が非損傷性上影響を与えないことから、一般的な線径とした</p> <p>・非損傷性上不利となる最大</p>
<p>③はり と 床版の 接合方法</p>	<p>頭付きスタッド                      ・規格 JIS B 1198</p> <p>・寸法 φ○○×L○○</p> <p>・間隔 ○○</p>	<p>(1)～(3)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>(1)頭付きスタッド                      ・規格 JIS B 1198</p> <p>・寸法 φ○○以上×L○○以上                      ・間隔 ○○以下</p> <p>(2)タッピンネジ                      ・寸法 φ○○以上×L○○以上                      ・間隔 ○○以下</p> <p>(3)打ち込みびょう                      ・寸法 φ○○以上×L○○以上                      ・間隔 ○○以下</p>	<p>非損傷性上同等の性能を有するため、一般的な(1)</p> <p>・仕様と同じ</p> <p>・非損傷性上不利となる最小</p> <p>・非損傷性上不利となる最大</p>

副構成材料の部材名の頭文字は○で記入してください。

(寸法単位：mm)

項目	試験体の構造	仕様	試験体の選定理由
④はりとデッキプレート の接合方法	アークスポット溶接	(1)～(3)のうち、いずれか一仕様とする (1)アークスポット溶接 (2)すみ肉溶接 (3)〇〇溶接	非損傷性上同等の性能を有するため、一般的な(1)
⑤〇〇〇	試験体の構造を記入してください。	認定仕様を記入してください	試験体選定理由を記入してください
⑥〇〇〇	試験体の構造を記入してください。	認定仕様を記入してください	試験体選定理由を記入してください
⑦〇〇〇	試験体の構造を記入してください。	認定仕様を記入してください	試験体選定理由を記入してください
⑧〇〇〇	試験体の構造を記入してください。	認定仕様を記入してください	試験体選定理由を記入してください
⑨〇〇〇	試験体の構造を記入してください。	認定仕様を記入してください	試験体選定理由を記入してください
⑩〇〇〇	試験体の構造を記入してください。	認定仕様を記入してください	試験体選定理由を記入してください

## 6-2. 試験方法

試験は、6-1 に示した試験体について、当法人が制定した「防耐火性能試験・評価業務方法書」（以下、「方法書」）「4.1 耐火性能試験・評価方法」に基づき 1 時間耐火性能試験を実施した。

試験荷重は、荷重支持部材である床に、積載荷重から算出した応力度が生じる荷重とした。

## 6-3. 試験の結果

[耐火性能試験] (加熱 60 分+測定 180 分=240 分)

(1) 試験体の最大たわみ量及び最大たわみ速度が、次の値以下であった。

最大たわみ量(mm) :  $L^2/400d$

最大たわみ速度(mm/分)\* :  $L^2/9000d$

L : 試験体の支点間距離(mm)

d : 試験体の構造断面の圧縮縁から引張縁までの距離(mm)

\* : たわみ量が L/30 を超えるまで適用しない。

(2) 非加熱側へ 10 秒を超えて継続する火炎の噴出がなかった。

(3) 非加熱面で 10 秒を超えて継続する発炎がなかった。

(4) 火炎が通る亀裂等の損傷及び隙間を生じなかった。

## 6-4. 評価の結果

本性能評価の仕様は、方法書に基づき管理値を考慮した上で評価した。

## 7. 申請者連絡先

会社名 :

連絡先を記載して下さい。

所在地 :

電話 :